

MX-5110FN/4110FN/5111FN/4111FN 用

SPDL2-c プリンタードライバーをご利用のお客様へ

バージョンアップに伴う機能変更について

2011年12月1日

【概要】

MX-5110FN/4110FN/5111FN/4111FN 用 SPDL2-c プリンタードライバーは、今回のバージョンアップにおいて、以下の変更を行いました。

変更 1.

ズーム設定機能と、紙折り機能の「東折り(ステープル)」設定を同時に使用できるように変更しました。

変更 2.

ズーム設定機能を使用し、かつ、基準点が「中央」に設定されている場合に、互換性機能の印刷領域機能を「最大」に設定すると、アプリケーションで余白なしの原稿を作成できるように変更しました。

【詳細】

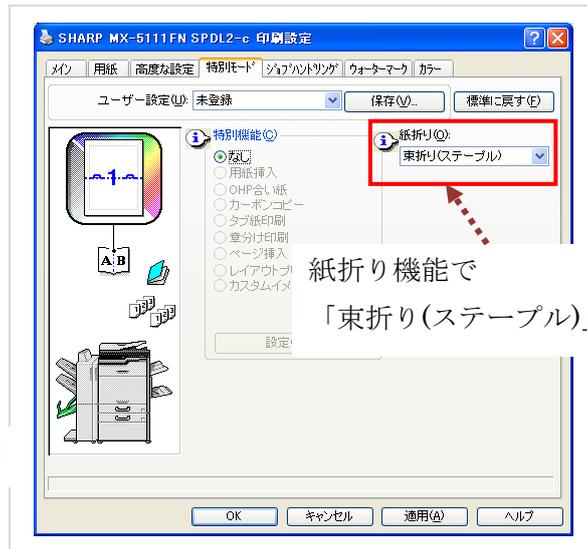
変更 1.の説明

ズーム設定機能と、紙折り機能の「東折り(ステープル)」設定を同時に使用できるように変更しました。

□プリンタードライバーのプロパティ設定の様子

「用紙」画面でズーム設定を行う

「特別モード」画面で紙折り機能の設定を行う



この変更により、フィットページ機能/ズーム機能を用いて、拡大/縮小した原稿を、「東折り(ステープル)」機能で、2つ折りにしてステープル止めを行うことができます。

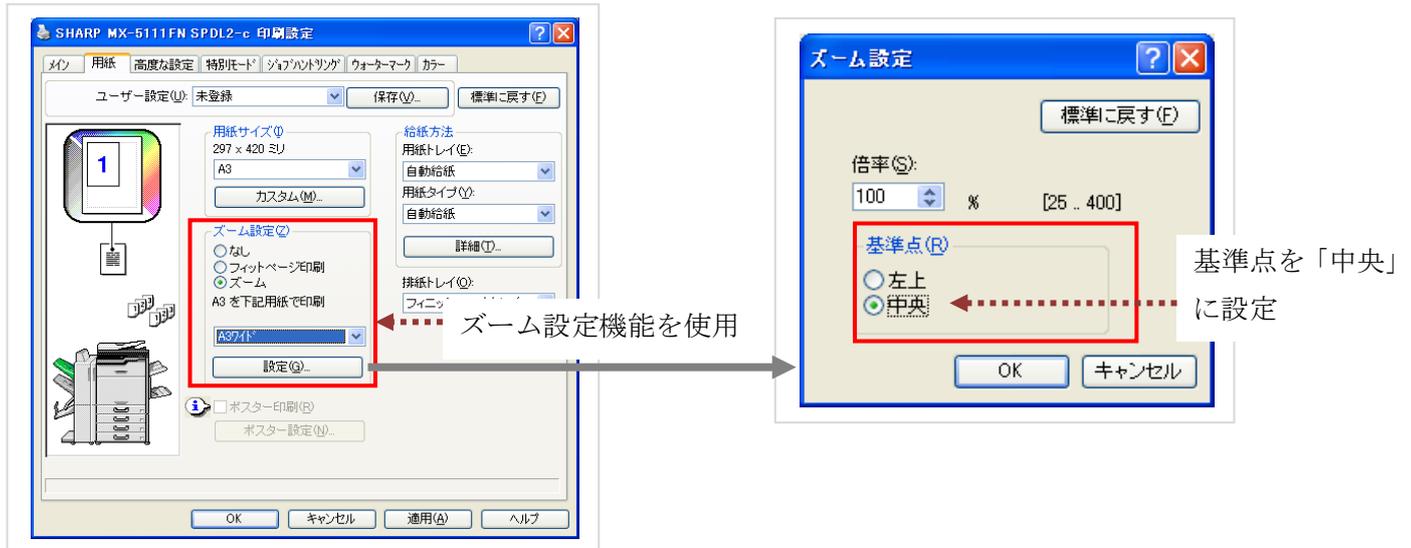
変更 2.の説明

以下の通り、ズーム設定機能を使用し、かつ、基準点を「中央」に設定している場合に、互換性機能の印刷領域機能を「最大」に設定すると、アプリケーションでの原稿データ作成時、余白設定を持つアプリケーションで余白を無しにして原稿を作成することが可能になります。

(ただし、この機能が有効となるのは、プリンタードライバーに対して、余白のサイズや印刷可能領域を問い合わせるアプリケーションのみに限定されます。)

□プリンタードライバーのプロパティ設定の様子

- ・「用紙」画面でズーム設定機能を使用し、かつ基準点を「中央」に設定する。



- ・「高度な設定」画面で、互換性機能の印刷領域機能を「最大」に設定する。



この変更により、原稿より出力用紙サイズが大きい場合に、原稿を余白無しで印刷することができます。印刷後に周囲を切り取れば、余白なしの A4 出力結果を得ることができます。例えば、A4 の印刷原稿を A3 用紙に印刷する場合などがあります。

ただし、出力用紙サイズの外周に存在する印刷不可の領域に原稿が配置された場合は、その部分は印刷されませんので、注意して下さい。原稿と出力用紙サイズが同じ場合、原稿より出力用紙サイズが小さい場合、ズーム機能で原稿を拡大した場合など、注意が必要です。

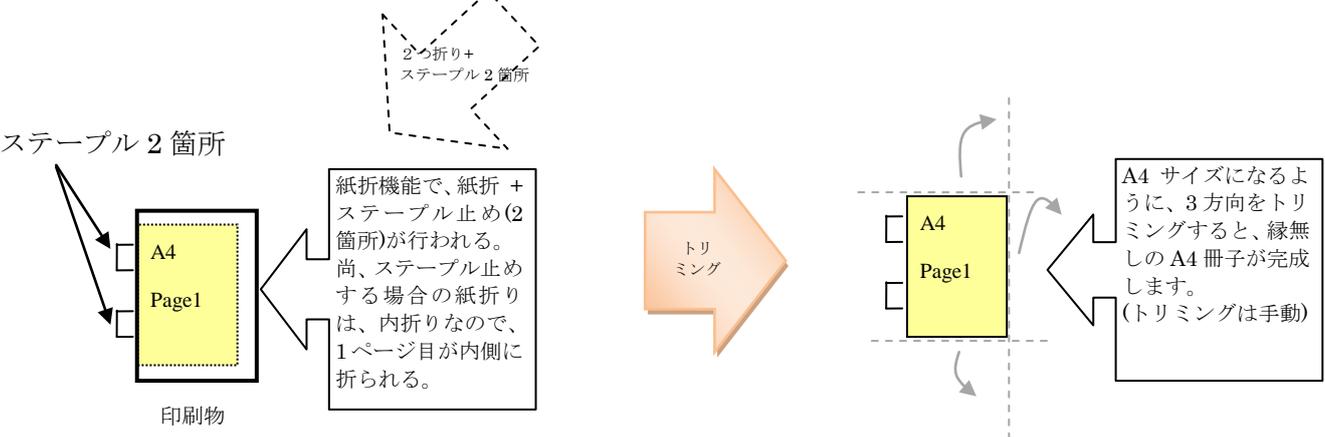
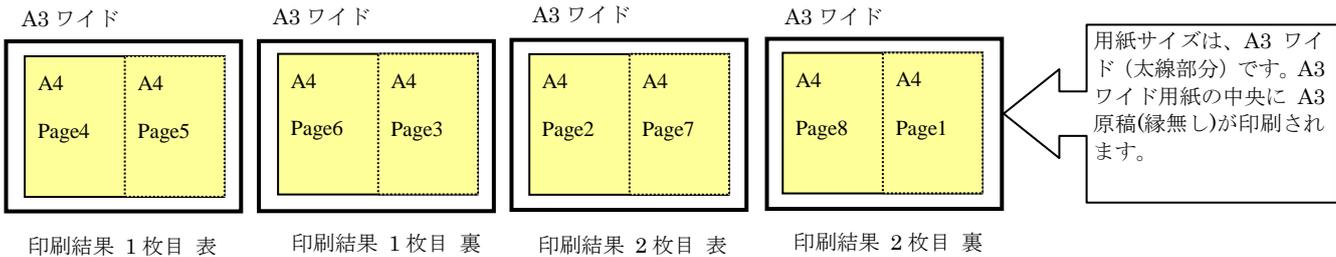
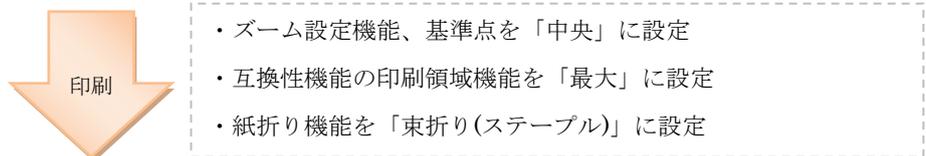
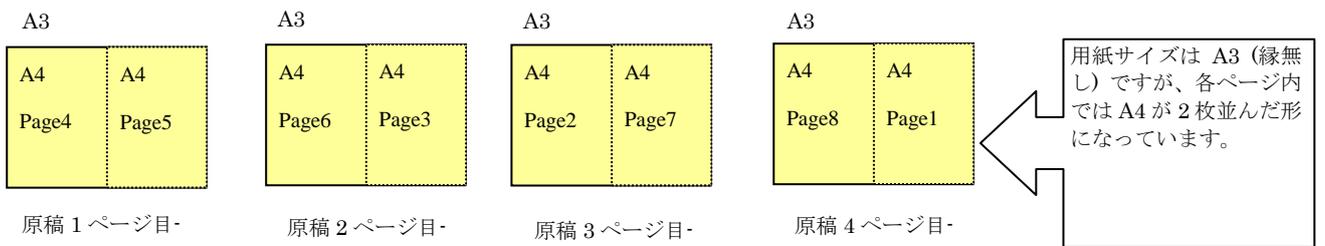
補足：変更1、変更2の使用例

MX-5110FN/4110FN/5111FN/4111FN では、サドルフィニッシャー(大容量(MX-FN18))を装着することで、A3 ワイド用紙の紙折り機能の「束折り(ステープル)」が可能です。上述の変更1、変更2を組み合わせることにより、以下のような使い方が可能です。

使用例：

例として A4 サイズの冊子を作成する場合について説明します。
この冊子は、縁無しで ステープルを 2 箇所 止めることにします。

- ① 中綴じ用のページ組が済んだ状態で A4 サイズ原稿を 2 枚並べた A3 サイズ (縁無し) の原稿を作成します。ここでは A3 サイズの原稿 4 ページ、中綴じ用のページ組は全部で 8 ページあります。
- ② ①の原稿を印刷する際、変更1と変更2の方法を使用して印刷します。
 - (ア) ズーム設定機能を使用し、A3 用紙を A3 ワイドで印刷、かつ基準点を「中央」に設定する。
 - (イ) 互換性機能の印刷領域機能を「最大」に設定する。
 - (ウ) 紙折り機能を「束折り(ステープル)」に設定する。
- ③ A3 ワイド用紙の中央に A3 原稿が印刷された状態で、2 つ折り +ステープル(2 箇所止め)した印刷物が得られます。この印刷物の周囲をトリミングすることで、縁無しの A4 冊子が完成します。



以上